

首相官邸前を埋めつくす

100万人結集で 原発なくそう!

9・21首相官邸前行動(18-20時)へ!

法大生のみなさん! 「3・11」から一年半。時代は大きく動き出しました! 原発をなくすまで止むことのない闘いが、大きく燃え広がっています! 首相官邸を20万人が包囲した6・29 - 7・29(写真上)の歴史的行動は、今も継続し発展しています。私たち学生が声をあげれば、社会を変えることはできる! すべての学生に10月19日(金)の法大デモ&首相官邸前行動への結集を訴えます!

フクシマとつながり行動しよう!

キャンパスから首相官邸前へ!

今、福島では何が起きているのでしょうか。

今月11日、福島の子ども1人から甲状腺がんが発見された。しかし福島県立医大は、「放射線の影響ではない」としている。なぜそんなことが分かるのか! 「福島を切り捨てる」という結論ありきであり、絶対に許せない。

さらに、同大学の副学長である山下俊一は、「日本という国が崩壊しないよう導きたい。チェルノブイリ事故後、ウクライナでは健康影響を巡る訴訟が多発し、補償費用が国家予算を圧迫した。そうなった時の最終的な被害者は国民だ」(8月26日付毎日新聞)と言い放っている。「国家」のために福島は死んでもかまわないと恥ずかしげもなく言う大学。これのどこが「学問」、「医療」なのか! 福島の子どもたちは「国民」ではないというのか!

これが「3・11」で暴かれた大学の腐敗だ。学生が団結して行動し、大学を変える時は今だ!

政府は、尖閣諸島(=釣魚台)の「国有化」を閣議決定し、マスコミもこぞって「領土」問題を煽りたてている。その狙いは私たちの怒りを野田政権や「原子カムラ」ではなく、中国や韓国に向けさせることだ。私たちが倒すべきは野田政権だ。そもそも、福島を切り捨て、子どもたちを見殺しにしておいて、何が「守るべき固有の領土」だ!

沖縄では、オスプレイ反対の県民大会が10万3千人で爆発し、日米政府を追いつめている(写真下)。さらに、全世界で「生きさせろ!」の闘いが巻き起こっている。私たちの敵は一つだ。すべての法大生は、今週21日の首相官邸前行動、10・19法大デモとともに立ちあがろう!



「オスプレイ断固反対!」9・9沖縄県民大会に10万3千人!

全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

TEL 03-3651-4861 <http://www.zengakuren.jp/> mail_cn001@zengakuren.jp

学祭規制反対！ 新たな処分策動を許さないぞ！

武田君(国文3年)が全学生に訴えます！

社会科学研究会の武田です。いよいよ後期が始まりました！ 自主法政祭も目前です。僕は、自主法政祭は他大の学祭と比べても圧倒的に盛りあがってるし、その自由な雰囲気の魅力だと思っています。しかし、そんな自主法政祭が今年徹底的に破壊されようとしています。史上初の「全面禁酒」や、規制実施のために各サークルから強制的に人を出させる「出向制度」など。他にも様々な規制が大学当局と学祭実によって一方的に狙われています。

学生センターが発行する通信『COMPUS』では、この一連の規制強化への流れを「大学当局対学生という単純な対立構造にとらわれずに、大学祭を成功させるために止揚した結果」などとベタ褒めしていますが、そもそも「自主法政祭を続けたかったら規制をのめ」と学生を恫喝してきたのが学生センターです。この当局の要求を学祭実が丸呑みし、大学当局がそれを全力で擁護して規制を自画自賛するという腐りきった「自主」のあり方。僕はこうしたあり方に対して怒り、反対の声をあげ続けてきました。

規制の強化と、反対する学生の排除は一体です。学祭実は今5月の意見交換会や、7月13日の全学説明会で、僕ら社会科学研究会を大学当局と一緒に会場から物理的に排除しました。こんなことは自主法政祭史上初めてで、こんなことをしなければ規制は強行できないのです。僕らはその都度会場前で抗議しましたが、それに対し「迷惑行為の禁止について」なる右上の文書が送られてきました。

この文章は、僕らのこの間の抗議を「迷惑行為」と非難しながら、発端である大学当局と学祭実による排除について何の説明もありません。これは、学生が学祭実や職員を批判するなということです。会場前での学生センター長・鈴木良則による僕への暴行等、これまでの大学側の悪行は全部棚上げです。彼らは何様なのでしょう？

何より、「万一これに従わず…今後もこれを繰り返す場合には、本学部は学則に基づいて厳正な処分を行う」という恫喝。「万一」も何も、従うわけがない！！

話はシンプルです。この「処分予告」は、僕個人に対してだけでなく、全法大生に向けられたものです。規制を

法政大学国際文化学部

迷惑行為の禁止について

貴君は、「文化連盟」、「社会科学研究会」と称し、本学部および学生センターの度重なる注意・指導にも関わらず、学友会主催行事実行委員会に対して、嫌がらせや恫喝といった数々の迷惑行為を繰り返している。

本学部は、6月12日(火)と7月10日(火)の2回、貴君と面談を行い、学部の教育理念を確認した上で、学生の本分に辱るような行為はやめるよう指導した。

しかし、貴君の迷惑行為はその後も続いたため、本学部は学友会主催行事実行委員会の学生と面談を行い、被害の究明について事情を聞くために、迷惑行為について事実確認を行った。

また、7月13日(金)の大学祭全学説明会には、本学部の教員11名の立会いを求め、貴君の迷惑行為の実態について現認を行った。

こうした経緯を踏まえ、本学部は、本年度7月17日開催の教授会において、下記の4項目を決議したので、これを通知する。

記

1. 国際文化学部は、大学祭をめぐるトラブルを回避し、不測の事態に備えるため、貴君が大学教職員および学友会主催行事実行委員会関係者に対して迷惑行為を行うことを禁止する。
2. ここにいう迷惑行為とは、大学教職員や学友会主催行事実行委員会関係者に対し、①本人の了承を得ぬままに、その写真やビデオ、音声などをネットや印刷物に掲載または第三者に供与あるいはそれに關与したり、②接触の強要、嫌がらせ、恫喝、つきまといなどの行為を行うことを指す。
3. 万一、これに従わず、これまでの迷惑行為を改めず、今後もこれを繰り返す場合には、本学部は学則に基づいて厳正な処分を行う。
4. 大学教職員および学友会主催行事実行委員会に対しての質疑等は、本学部窓口において、書面のみで受け付けるものとする。

大幅に強化するために、毎年規制絶対反対を訴えてきた僕らがろくな理由も説明されず、会場から排除された。排除に抗議すれば、「処分するぞ！」と恫喝。

「大学祭をめぐる不測の事態」とは、規制を強化する大学当局と学祭実の「決定事項」が覆ることであり、「迷惑行為」とは、規制絶対反対を貫こうとすることです。

今年の全学説明会では、学祭実に対して二割の不信任が叩きつけられました。また学祭実発行のアンケート調査結果ですら、規制反対は半数を超えています。これに恐怖して学祭実と大学当局が一体となって、規制絶対反対の声をあげ続ける学生を「迷惑行為」だと見せしめ的に処分しようとしているのです。しかしそれは、当局と学祭実が学生の怒りに追いつめられている証左でもあります。団結して声をあげれば、規制も処分策動もぶっ飛ばせるということです。

だから僕は、これからも規制絶対反対で声をあげます。本当に規制を止める闘いは後期からです。是非ともに声をあげ、処分策動も排除も乗り越えて、規制反対の団結の輪を広げていきましょう！！ よろしくお願いします。

原発反対！ 処分阻止！ 学生が行動する日！

10/19 法大デモ×官邸前

<主催>

文化連盟、全学連

法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合 12時40分～

その後、首相官邸前行動(18時～)に合流します。